

愛寿会 たより

6 月号
第 96 号
平成 19 年
6 月 1 日発行



【 完成間近の第二仁生園 】

これからの高齢者福祉について

先般の介護保険法改正は、予防給付の見直し、地域密着型サービスの創設、居住費や食費の自己負担など、制度創設以来の大幅な見直しとなりました。

介護サービスを利用される高齢者や御家族にとっては、利用形態の変化や負担増に対する不安が広がり、また、事業者にとっては、利用者への説明やケアプランの変更を追われるなど、大変な御苦労があったことと存じます。

そうした中で一年余が過ぎ、新たな制度の定着が一步一步進んでいる感がありますが、これも市町村や事業者の皆様の御尽力の賜物と深く感謝する次第です。

さて、現在、国においては、地方分権改革や道州制導入に向けた検討が本格的に行われております。

これは、国・地方の双方が抱える深刻な財政危機、少子・高齢化の急速な進展などの課題に対応するため、国、都道府県、市町村という既存の枠組みや役割分担を根底から転換しようとするものです。こうした変革の流れは、高齢者福祉に

山梨県長寿社会課

課長 三枝 幹男

とつても重大な影響を及ぼすものであり、従来の全国一律の基準による施策から、地方の独自性を生かした特色ある施策へと重心が移ることとなります。

介護保険においては、いち早くその思想を取り入れ、市町村を保険者とし、高齢者に対する介護予防や地域支援の取組などを担っていただいています。その役割は今後更に多岐にわたり、ますます重要となっていくことが予想されます。

また、介護サービス事業者にとつても、多様な選択肢が可能となるサービス提供が一層求められる状況になると思います。現在、介護予防システムの推進、認知症対策の充実、療養病床の再編など、高齢者福祉に関する様々な課題が山積しております。

こうした課題に対して、県は、介護保険制度を安定的に維持、発展させ、高齢者が安心して住み慣れた地域で生活できる社会を目指す施策を推進してまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人愛寿会が、地域のニーズに応える福祉事業を幅広く実施され、県民福祉全般に貢献されておりますことに改めて敬意を表するとともに、貴会の益々の御発展を御祈念申し上げ、結びといたします。

料金後納郵便

申子小包

差出人(差出発送代行)

7-4

佐川物流サービス(株)

返送先: 〒140-0012

品川区勝島 1-1-1

このお荷物はお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行して

― 理事会・評議員会開催 ―

第百六十九回理事会並びに第十四回評議員会が、五月二十五日に開催され、次の事項について協議されました。

一. 定款の改定について

「第二仁生園」に関する改正

二. 諸規定の改正について

「第二仁生園」に関する改正

三. 平成十八年度事業報告について

四. 平成十八年度収支決算について

監事監査報告

五. 平成十九年度「第二仁生園」事業計画・収支予算について

七月より事業開始となりますので、事業計画

・収支予算について協議されました

六. 愛寿会発展計画の進捗状況について

これからの予定等も含め、報告・説明されました

七. 役員の変更について

当て職の理事・評議員の変更が承認されました

退任者 桜井義長 理事・評議員

就任者 藤森三男 理事・評議員

平成十八年度 事業報告

愛寿会のモットーである「利用者本位のサービスの実践」「専門性の活かせる職場づくり」「地域社会との協働と貢献」をめざし、利用者「安全で安心した生活」「その人らしい生活」「できる限り在宅に近い生活」の提供に努力した。

また、本年度も各事業のベツト稼働率・利用率の向上は勿論のこと、派遣職員の雇用・業務委託費・オムツの見直し等により経費節減に努めた。

1. 社会福祉法人 愛寿会

① 役員会の開催

理事会 年四回 監事監査 五月

評議員会 年三回

② 役員の変更及び変更

七月 改選 理事十名、評議員二十一名

監事二名、顧問三名

退任

花輪千世子理事・評議員 小池 正広評議員

向井 敦子理事・評議員 秋山 直道評議員

藤森 勇夫評議員 浅川 和恵評議員

茅野 昭子評議員 津久井豊徳評議員

金丸 一幸評議員

就任

中山 賢一理事・評議員 坂本 仁 評議員

桜井義長 理事・評議員 高橋 司 理事 平賀 光 評議員

守屋 俊之評議員 八巻 俊六評議員

山縣 久高評議員 山田トミエ評議員

栗原 信 評議員 小泉 操 評議員

溝口 康司評議員 入江 薫 監事

法人減免の実施

利用者総数 十六名 五市町村

法人減免額 九十九万七千七百五十九円

④ 介護報酬の請求

停滞もなく請求でき、過誤・返戻も最小

限になっている。

⑤ 派遣職員の雇用

⑥ 苦情解決相談

愛寿会が提供するすべての事業の苦情に対して、窓口担当者・解決相談責任者・自己評価委員又第三者による苦情解決相談委員会を設けていたが、委員会開催までの苦情はなかった。

⑦ 情報の開示

財務状況・監査状況等を園内に掲示すると共に、毎月発行する「愛寿会だより」「ホームページ」により自主的に情報開示を行なった。

⑧ 第二仁生園の建設

建設資材等の高騰・補助額の減額・県上乗せの廃止等の理由で建設業者の決定が遅れたことから三月末の完成は無理となり、次年度繰越となった。

⑨ 観音様の建立

利用者の念願でありました観音様「愛寿観音」を建立しました。

⑩ ノロウイルスによる感染

あらゆる感染症に対して注意をしていたが、多くの感染者を出してしまった。現在は感染者を最小限に食い止めるよう、グループユニットにし、施設内の消毒を一日二回ずつ実施すると共に、手指消毒・うがい等を徹底している。

⑪ 経費削減の取り組み

厨房業務委託・コンピューターソフト・オ

⑫ 職員研修会の成果
 ムツ・入浴方法・発送方法等あらゆる部分について経費削減に努力した。

十二の研究部会及び各委員会によりサービスの向上に取り組んだ結果、十七・十八年度の介護報酬の減額を最小限(減額なし、六加算)に抑えることができた。

2. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)

定員 一三二名

平均入所者数 一二九・〇名 ベット稼働率 九七・七%

平均介護度 三・三七

* グループケア ↓ 利用者が十五名以内のグループにすることにより、これまで以上に「目配り」「気配り」が行き届き、一人ひとりのニーズの添った支援が出来るようになった。

* リスクマネジメント ↓ 介護事故等を未然に防ぐために、ケアプランの作成段階からあらゆる危険性について家族と共に話し合い、同意のうえで提供した。又、「ヒヤリハットノート」の活用(年間八十七件)により、事前に気づくことができています。

* 怪我等発生件数(市等報告) 九件
 入所者のつどい ↓ 入所者の意見を聞く場・話し合いの場として年六回実施し、サービスの改善に役立てた。

3. ショートステイセンター(短期入所生活介護)

定員 一三名

法人独自のセミロングステイを含め、一日平均九・六名を達成した。

4. デイサービスセンター(通所介護)

通常の事業に加え、障害者デイ事業を一年を通して土日祝日、又年末も実施し、年間実施日二四七日、平均利用者数一六・九名を達成した。
 また、利用者等の承諾を得て、四〜六時間から六〜八時間事業に変更した。

5. グループホーム「やすらぎ」(認知症対応型共同生活介護) 定員 九名

家庭的な雰囲気大切に、その人らしい生活をおくっていたくように努めた。
 平均入居者数八・九五名 入居率九九・五%

* 地域運営委員会の立ち上げ 六回実施

6. 介護相談センター(居宅介護支援事業所)

介護保険法改定による利用者数の減により、十月から職員二名体制を一名に業務縮小した。

7. 生活支援ハウス「こあらま」(ケア付き住宅)

定員 九名

行事への参加・食事の提供・二十四時間対応等、総合老人福祉施設併設のメリットを十分生かしたケア付き住宅として平均七・一四名が利用した。

8. その他

* 安全対策等危機管理

毎月1回以上「安全対策委員会」「防災対策委員会」「衛生委員会」を開催し、防災・不審者・震災・介護事故・食中毒・感染症・個人情報保護等あらゆる危機に対して検討、対応、訓練を実施した。又、「虐待防止委員会」「ターミナルケア委員会」も新たに立ち上げ協議するようになった。

* 食事の充実

すべての入所者に対して「栄養ケアマネージ

メント」を定着させることができた。

* 職員の育成

毎週月曜日の実践研修報告会、年間24回のケア研修会、十二研究部会研修会を開催するとともに、施設外開催の勉強会に積極的に参加し、報告勉強会も実施した。

9. 課題

- ① 職員の雇用
- ② 重度化への対応
- ③ 安全対策への不安

―後援会役員会開催―

第一回役員会が開催されまして、役職が決定されました。

- 会長 中山賢一
- 副会長 平井静子 保坂多枝子 三澤喜代子
- 桜井義長 守屋俊之 小泉 操
- 山田トミエ



【後援会役員会の様子】

―入所者のつどい―

五月一日、入所者のつどいが開催されました。日常生活に関する事、行事・食事・入浴などについて活発な意見が飛び交い、たいへん有意義なものとなりました。入所者の方々のご意見・ご要望・激励を今後のケアに活かして、より一層質の高いケアの提供を目指していきたいと思えます。



【活発な意見交換が行なわれました】

―野点―

五月九日、心地よい風の晴れた日に、園の

中庭にて野点が催されました。着物姿の職員が参加された方にお点前を披露しました。お茶を飲みながらゆったりとした時間を過ごしました。



【それぞれにゆったりとお茶を楽しまれました】

ご家族のみな様へお願い

ご登録いただいた緊急連絡先または介護・医療保険証等に変更または更新がある場合には、仁生園までご連絡のうえ提出ください。

担当 相談員 坂本 仁

ご芳情 (五月一日～五月三十一日)

- ・レクボランティアほがらかグループ 様
- ・レクボランティアゆずっこの会 様
- ・北杜市 山鳩の会 様
- ・北杜市 保坂 多枝子 様
- ・北杜市 小野寺 毅 様
- ・北杜市 半田 武司 様 他三名 様
- ・日本アーツオブビューティ専門学校 様

利用者状況 (五月末現在)

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十・〇三名
デイサービスセンター	一一一名
グループホーム やすらぎ	九名
生活支援ハウス こあらま	六名

仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などがございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340